



7月3日 ↓



8月10日 ↓



7月5日 ↓



8月11日 ↓



7月12日 ↓



8月21日 ↓



8月5日 ↗



8月23日 ✓



8月24日 ↓



9月27日 ↓



8月25日 ↓



10月5日 ↓



8月28日 ↓



10月25日 ↓



9月19日 ↗



10月31日

5.5 九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ開催の検討

5.5.1 目的

漂流・漂着ゴミ問題の取り組みにあたっては、関係者の情報交換の場を設置し、ネットワーク化を進めていくことが重要である。全国レベルにおける連携強化のみならず、地域レベルにおける連携強化も重要な課題であり、とくに近傍の河川がゴミの発生源となっている可能性のある地域においては、河川流域全体の関係者の連携を強化することが有効である。本調査では、河川流域における NPO/NGO および自治体が一同に会し情報交換をする場の設置可能性について検討し、平成 20 年度の流域ゴミ問題ワークショップ（仮称）開催に資することを目的とする。調査の概要を図 5.5-1 に示す。

5.5.2 調査内容

平成 19 年度の調査結果を踏まえて、福井県九頭竜川流域を対象として流域ゴミ問題ワークショップ（仮称）の準備を進める。ワークショップの開催は平成 20 年秋以降（予定）とし、それにより参加者の有する知見やノウハウを共有するとともに、流域のゴミ問題に関する課題について議論する。

漂流・漂着ゴミ問題では関係者の連携強化が重要
⇒とくに、河川流域全体の関係者の連携を強化することが有効



流域全体のNPO/NGOおよび自治体が情報交換をする場を設置

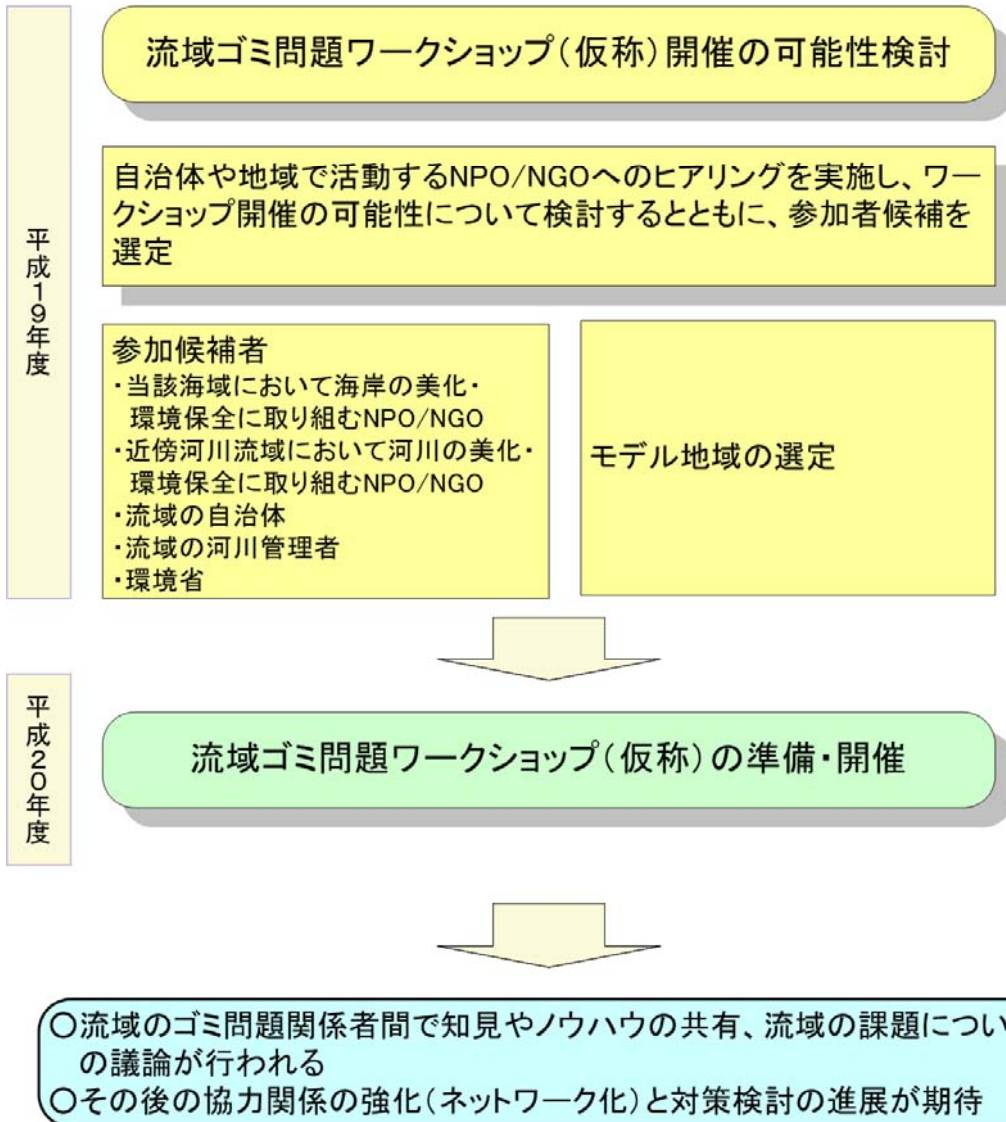


図 5.5-1 九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ開催の検討の概要

5.5.3 九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップの概要

(1) ワークショップの位置づけ・目的

漂流・漂着ゴミは大きく陸域起源のものと海域起源のものに分けられるが、一般的に陸域起源のものが約8割³を占めており、河川を通じて海域に流入していると考えられている。このため、漂流・漂着ゴミの対策にあたっては、沿岸域の取り組みだけでは不十分であり、流域全体での取り組みが必要と言える。

そのような考えのもと、環境省「漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査」において、関係者間の情報や課題の共有および連携強化を目的とした「流域ゴミ問題ワークショップ（仮称）」開催の検討を行ってきた。平成19年度の検討結果から、九頭竜川流域においてゴミ問題を取り扱う団体は複数あるものの、現時点ではそれらが協働して流域全体のゴミ問題の対策を検討するといった段階まで達していないと推察された。まずは少数の核となりうる団体から情報発信を行い、関心のある人々に受け止めてもらうことにより、裾野を広げ全体の底上げをしていくことが必要な段階にあると考えられた。

一方、平成19年に国土交通省主催で開催された「九頭竜川“水・交流サミット”」では、九頭竜川本流の流域自治体首長による意見交換等が行われ、ゴミ問題も含めた流域の課題について、今後、関係機関が協力して広域連携を進めていくことが行政レベルで確認されている。

そこで平成20年度には、ゴミ問題に関心のある民間関係団体を主たる対象として、

- ・ 最終的にゴミが流れ着く河口や海岸の現状を知ってもらうこと
- ・ 流域や河口、海岸でのゴミ問題への取り組みに対する相互理解を深めること
- ・ 流域でのゴミ問題に関して、課題の整理と問題提起を行うこと
- ・ 今後の対策や連携強化・協働に向けて緩やかなネットワークを形成していくことを目的とするワークショップを開催する。

なお、本ワークショップは、今後、毎年継続的に実施していくことを念頭に置き、将来的なプラットフォーム（協働して取り組みを進める母体）の設立を視野に入れるものとする。

(2) 開催日時及び会場

2008年11月30日（日）13:00～16:30

福井商工会議所ビル 2F 会議室 A・B

(3) 主催

環境省

(4) 共同呼びかけ人

行政主導のトップダウンではなく、流域の民間関係団体および行政の連携による取り組み推進という点を強調するため、以下の2団体を「共同呼びかけ人」とする。

- ・ エコネイチャー・彩みくに
- ・ NPO 法人ドラゴンリバー交流会

³ JEAN/クリーンアップ全国事務局 クリーンアップキャンペーン 2007 REPORT より

(5) 協力

福井県、坂井市

(6) 円卓着席者

今後の活動の核となりうる関係団体・機関および、流域における連携強化に際して参考となる話題を提供しうる団体として、以下の10団体・機関が円卓に着席し、情報提供および討議を行う。

A) 流域・沿岸域において海ゴミ・河川ゴミ問題に関わる団体

- ・ エコネイチャー・彩みくに 阪本 周一 会長
- ・ NPO 法人ドラゴンリバー交流会 有塚 達郎 理事長
- ・ (社) 勝山青年会議所 多田 輝雄 理事長
- ・ まちおこし21 堀口 岩男 前代表

B) 関係行政機関

- ・ 坂井市生活環境部 原田 幸治 部長
- ・ 福井県安全環境部 城越 芳博 企画幹
- ・ 福井県土木部河川課 北嶋 雅之 課長
- ・ 近畿地方整備局福井河川国道事務所 玉置 文志 副所長
- ・ 環境省 地球環境局環境保全対策課 田中 聡志 課長、小沼 信之 係長

C) ゲスト

- ・ JEAN/クリーンアップ全国事務局 小島 あずさ 代表
- ・ 美しい山形・最上川フォーラム事務局 平野 沢果 氏

(7) プログラム

時刻	時間	内容	発表者
13:00	—	開会	司会 (事務局)
13:00	5分	冒頭挨拶・趣旨説明	環境省 田中課長
13:05	15分	話題提供 ・海ごみの全般的な課題の紹介	JEAN/クリーンアップ全国事務局
13:20	15分	情報提供 ・政府の方針 ・モデル調査の概要 ・福井の調査結果の紹介 ・今後の検討事項及び課題	環境省 小沼係長
13:35	20分	活動報告 ・これまでの取り組みの紹介 ・ゴミ現状の把握 ・九頭竜川河口域における海ゴミの現状 ・不法投棄の抑制 ・課題の提示	エコネイチャー・彩みくに
13:55	20分	活動報告 ・これまでの取り組みの紹介 ・足羽川のクリーンアップ ・九頭竜川・足羽川で遊ぼう会 ・広報活動 ・課題の提示	NPO 法人ドラゴンリバー交流会
14:15	15分	活動報告 ・これまでの取り組みの紹介 ・クリーンアップ九頭竜川 ・川がき隊 ・行政・企業との連携	勝山青年会議所

		・課題の提示	
14 : 30	15 分	活動報告 ・これまでの取り組みの紹介 ・川クリーン大作戦 ・ゴミの分別・減量 ・町をあげての取り組み ・課題の提示	まちおこし 21
14 : 45	10 分	《休憩》	
14 : 55	15 分	話題提供 ・最上川流域における取り組み ・フォーラム設立の経緯 ・運営の概要（産学官公民の連携） ・クリーンアップ活動 ・発生抑制への取り組み ・課題	美しい山形・最上川フォーラム
15 : 10	15 分	情報提供	近畿地方整備局 福井河川国道事務所
15 : 25	10 分	情報提供 ・海岸清掃の実施状況 ・福井県の漂着ごみ対策 ・漂着廃棄物適正処理支援事業 ・環境基本計画の策定 ・発生源対策（3R 推進メッセージの募集）	福井県城越企画幹
15 : 35	52 分	全体討議・まとめ ・冒頭に小島代表から「海ゴミプラットフォーム」について紹介（7～8 分） ・課題の整理と問題提起	座長：エコネイチャー・彩みくに阪本会長
16 : 27	3 分	締めの挨拶	福井県城越企画幹
16 : 30	—	閉会 アンケート（傍聴者）	司会（事務局）

6. 検討会の実施
(整理中)